

表 准看護師の実践能力と卒業時の到達目標(日本看護学校協議会案)

准看護師の実践能力		卒業時の到達目標(案)	
	構成要素		
Ⅰ群 ヒューマン ケアの基本 的な能力	A.対象者の理解	1	対象の身体的状態を理解するのに必要な人体の構造と機能について理解する
		2	胎生期から死までの生涯各期の成長・発達・加齢の特徴に関する知識をもとに対象を理解する
		3	対象者を身体的・精神的・社会的側面から総合的に理解する
	B.実施する看護につ いての説明責任	4	看護師の指示のもと、実施する看護の目的・方法について対象者にわかるように説明する
		5	准看護師の役割の範囲を認識するとともに、自らの現在の能力を超えると判断する場合は、医師又は歯科医師ならびに看護師に指示を求める。
	C.倫理的な看護実践	6	対象者の情報の取り扱い及び共有の方法を理解し、適切な行動をとる
		7	対象者の尊厳や人権を守り、価値観、生活習慣、慣習、信条等を尊重する行動をとる
		8	対象者の選択権及び自己決定を尊重し、擁護的立場で行動する
		9	組織の倫理規定及び行動規範に従って行動する
	D.援助的関係の形成	10	対人技法を用いて、対象者と援助的なコミュニケーションをとる
		11	対象者からの質問・要請に誠実に対応する
Ⅱ群 看護師の立案した看護 計画を基に 看護を実践 する能力	E.アセスメント	12	医師・歯科医師または看護師から情報提供を受け、対象者の健康上の課題を理解する
		13	看護師の考えた看護問題(課題)と優先順位を理解する
	F.計画	14	看護師の立案した計画について理解する
	G.実施	15	計画された看護を実施するにあたり、対象者の客観的・主観的情報を収集し、実施の可否を判断する
		16	計画された看護を対象者の反応を捉えながら実施する
		17	計画された看護を安全・安楽・自立に留意し実施する
		18	看護援助技術を対象者の状態に合わせて適切に実施する
		19	実施した看護と対象者の反応を報告し、記録する
	H.評価	20	実施した看護の結果をどのように評価したかを知る
		21	評価に基づいて、修正された看護計画を理解する
Ⅲ群 健康の保 持・増進、 疾病の予 防、健康の 回復、苦痛 の緩和に関 わる実践能 力	I.健康の保持・増進、疾 病の予防	22	生涯各期における健康の保持増進や疾病予防における看護の役割を知る
		23	環境の変化が健康に及ぼす影響と予防策について知る
		24	正常な経過をたどる妊娠・出産・育児にかかわる援助方法を理解する
	J.健康の回復、苦痛の 緩和	25	対象の健康状態と治療について理解する
		26	治療が及ぼす影響について理解する
		27	対象者の心身の苦痛を理解する
		28	対象者の観察を怠らず、症状の変化について迅速に報告する
		29	医師・歯科医師、または看護師の指示のもと合併症予防のための療養生活を支援する
		30	医師・歯科医師、または看護師の指示のもと心身の苦痛の緩和を図る
		31	看護師の指示のもと日常生活の自立に向けた療養生活を支援する
	K.終末期の看護	32	基本的な救命救急方法を理解する
		33	死の受容過程を理解し、その人らしく過ごせる支援方法を理解する
		34	終末期にある人の治療と苦痛の緩和方法を理解する
35		終末期にある対象者と家族を多様な場においてチームで支援することの重要性を理解する	

准看護師の実践能力		卒業時の到達目標(案)	
構成要素			
Ⅳ群 ケア環境と チーム体制 を理解し活 用する能力	L.看護専門職の役割	36	准看護師の業務を法令に基づいて理解し、その役割と機能を説明する。
	M.安全なケア環境の確保	37	医療安全の基本的な考え方を理解する
		38	治療薬の安全な管理について理解する
		39	感染防止の手順を遵守する
	N.保健・医療・福祉 チームにおける多職種 の協働	40	保健医療福祉チームにおける看護師・准看護師及び他職種の機能・役割を理解する
		41	対象者をとりまく保健・医療・福祉関係者間の協働の必要性について理解する
		42	対象者をとりまくチームメンバー間で報告・連絡・相談等を行う
	O.保健・医療・福祉シ ステムにおける看護の 役割	43	地域包括ケアシステムの観点から多様な場における看護の役割と機能について理解する
		44	諸外国及び日本における保健・医療・福祉の動向と課題を知る
	Ⅴ群 専門職者とし て研鑽し続け る基本能力	P.継続的な学習	45
46			継続的に自分の能力の維持・向上に努める